

2025年度 第2回 介護・医療連携推進会議 議事録

R8.2.27 (金) 14:00 ～ ナザレ園ホーム・ライフ・サービス常陸太田

1.開会

2.議題

①事業報告（実績）

(1) 令和7年10月～令和8年2月までの事業報告（実績）

・10月 新規・再開 2件	停止・終了 0件	計 18件
・11月 新規・再開 1件	停止・終了 3件	計 16件
・12月 新規・再開 2件	停止・終了 2件	計 16件
・1月 新規・再開 0件	停止・終了 1件	計 15件
・2月 新規・再開 2件	停止・終了 0件	計 17件

※令和7年度 新規利用者 令和7年10月～2月 7名

※3月からの新規利用者が1名（予定）、他3名新規依頼があり、計4名待機中。

(2) その他

・苦情相談	0件
・事故	2件
・器物破損	1件

事業報告（実績）の詳細は配布資料参照。

③質疑・応答

【ケアマネージャー】

1日の訪問回数が各利用者バラバラだが、訪問回数はどのように決めているのか。

【ナザレ園サポート24 常陸太田 所長】

投薬（点眼含む）・服薬確認があると、1日の訪問回数は増える。家族から夜間就寝しているか確認して欲しいといった依頼もあり、1回の訪問が10分程度ということもある。あとは利用者様の体調により、訪問回数を決めている。

【利用者ご家族代表】

家族がサービスを利用していたが、施設に入所した。
自宅で生活を続けさせたい気持ちとヘルパーに必要以上に手間を掛けさせているという申し訳ない気持ちもあり、家族間で話し合った結果、施設入所となった。施設に入所して体調に波はあるものの、元気にしている。施設入所という家族では決断しづらいことは周りの専門職の人たちに相談することも大切だと感じた。

【連携先看護師】

看護師として利用者様のアセスメントをしていると、このサービスを利用でき、ありがたいという声を多くいただく。また、今回の事業報告（実績）から、利用者様だけではなく、ご家族との連携も大切だと感じた。

【地域包括支援センター】

4名待機中とのことだが、あと何名受け入れ可能か。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

現在9名の職員が当事業所に在籍しているので、まだ受け入れ可能。

【地域包括支援センター】

認知症の方の事例を見ていると対応する職員も大変だなと感じた。
地域住民の方々にもこのサービスを知ってもらうことも必要だと感じた。
地域住民の方々にも、このサービスを利用することで独居認知症になっても自宅で生活が出来ると安心してもらえる、協力的になってくれる部分もあると思う。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

訪問時に利用者様が不在で周りを探していると近所の方がどこに行ったか教えてくれたりする。初回訪問時に近所の方に挨拶するのもよいかもしれない。

【ナザレ園訪問看護ステーション】

このサービス一つのみ利用ではなく、デイサービスやショートステイなど他のサービスもうまく併用してもらうことで、認知症で独居の方でも自宅での生活は可能かなと思う。対応するヘルパーは大変だと思うので、ヘルパーのことも心配である。

【地域住民代表】

利用者数が少ない時、多い時、ヘルパーはどうしているのか。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

利用者数が少ない時は研修や勉強会に時間を充てている。利用者数が多い時は利用者様にサービス利用をお待ちいただく、または職員の増員を検討する。

【地域住民代表】

職員が不足した場合、外国人の職員は考えているか。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

当法人ではすでに施設で多くの外国人が活躍している。しかし、訪問サービスとなると運転や調理といった施設にはない業務が出てくるのでそこが課題である。外国人だけではなく、今まではヘルパー＝女性だったが、今後は男性ヘルパーが増えていくことも考えられる。

【地域住民代表】

認知症で家族がいない独居の方にはどのようにしてこのサービスに繋げるのか。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

地域包括支援センターや民生委員が入口になる。

【民生委員代表】

民生委員として認知症の方と接する機会があるが、この症状は認知症からくるものなのか悩むことがある。

【ナザレ園在宅サービス総括所長】

悩んだ時は地域包括支援センターなど専門職の方に相談してください。

②自己評価・外部評価 評価表について

事業所の自己評価をしました。

内容を読んでいただき、外部評価にコメントをお願いします。

④次回開催日時について

2026年9月17日（木）14：00～を予定